

猿 橋
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における
猿橋小の旧名。切磋琢磨の
意が込められている。

世界がひとつになるまで

校長 磯部 裕之

まぶしい陽ざしが 君の名前を呼ぶ
おんなじ気持ちで 空が見えるよ
つらいとき ひとりきりで 涙をこらえないで
世界がひとつになるまで ずっと手をつないでよう
あたたかいほほえみでもうすぐ
夢がほんとうになるから

作詞 松井五郎
作曲 馬飼野康二
編曲者 馬飼野康二

11月に、4年生が新発田市音楽交歓会で発表してきた曲です。歌詞について調べてみるとこんな解説が載っていました。

「シンプルながらも深い意味を持っています。歌詞には、平和への願いや友情、信頼の大切さが込められており聴く人に強いメッセージを届けます」

まさに、会場いっぱい、やさしくて強いメッセージが響き渡った、そんな感じのする一体感と透明感のある綺麗なハーモニーでした。

交歓会前日、4年生は最後のリハーサルを体育館で行っていました。最後には、全員が手をつないで、心を1つにしていました。この姿を見ただけで、「明日の発表は、うまくいくぞ」と確信しました。ここに至るまでに積み上げてきたものがこの姿に表れていたからです。



また、2学期の児童会の大きなイベントと言えば「きらきらカーニバル」があります。今年もゲームや宝探し、競争タイプ、パワータイプ、劇など、多種多様なお店が並びました。毎年、子どもたちのアイデアとパフォーマンスはすごいなあと感じるところです。店を出す5・6年生はもちろんすごいのですが、1～4年生も、終わるとすぐに、5・6年生に向けてお礼のメッセージを届けるのが猿橋小の伝統となっています。

「私は、宝探しが楽しかったです。なぜならハズレが出たときに『ドンマイ！次、見つけてね』と言ってくれたからです」（4年生）

この感想にあるように、きらきらカーニバルは、きらきら言葉をかけ合う、相手がうれしくなる言葉をかけ合って楽しいイベントにするというテーマがあります。こういった行事をとおして、相手を大事にすること、お互いが楽しむことを学んでいます。

皆様のご理解とご協力のおかげで、2学期の教育活動も無事に終わります。子どもたちにとって安全で有意義な冬休みとなることを、心より願っております。良い年をお迎えください。